

会議録

会議の名称	第1回那珂川町国民健康保険運営協議会		
開催日時	平成30年7月19日(木) 19:00~20:00	開催場所	保健センター2階健康増進室
出席者	1. 委員 津留委員、吉野委員、小塚委員、大神委員、高橋委員 黒崎委員、仲吉委員、重松委員、野尻委員 2. 執行機関(事務局) 江頭部長、伊藤課長、日下部課長、古川係長、玉水係長、岸川、 西川、村田 3. その他		
配布資料	平成30年度国保特別会計予算について、特定健診・特定保健指導について		
議題及び審議の内容	記録者：村田		
1. 委嘱状交付			
2. 住民生活部長あいさつ			
3. 委員及び事務局の自己紹介			
4. 国保運営協議会の役割			
5. 会長あいさつ			
6. 報告事項			
(1) 平成30年度那珂川町国民健康保険事業特別会計予算について			
事務局から説明。			
【質疑】			
特になし			
【異議】			
特になし			
(2) 特定健診・特定保健指導について			
事務局から説明。			
【質疑】			
委員：電話番号登録ありの対象者について、電話は固定電話と携帯電話では、どちらの登録が多いのでしょうか。			
事務局：現在は固定電話の方が多いです。			
委員：携帯電話の登録を増やそうとはしないのでしょうか。			

事務局：携帯電話の登録を増やそうと検討はしていませんでした。現在、電話番号の確認については国民健康保険の加入時の申請書にて行なっていますが、携帯電話の番号を記入している人の割合が多いため、携帯電話の登録は増えている傾向にあると思います。

委員：報告1の内容にも戻りますが、特定健診の受診率は、歳入の特定健康診査等負担金に影響するのでしょうか。

事務局：歳入の特定健康診査等負担金に関して、特定健診の経費の内の2/3を補助するような形で決まっており、受診率に影響はありません。補足させていただきますと、受診率に関しては保険者努力支援制度で見られるところになります。

委員：先ほど経費の2/3と言いましたが、啓発等の電話勧奨の職員人数も含まれるのでしょうか。

事務局：特定健診の委託料が2/3の補助に当たり、電話勧奨については国のヘルスアップという事業で全額補助があります。

委員：国保加入者について、ここ2、3年どのような推移でしょうか。

事務局：例年、徐々に減っています。減っている大きな要因としては、後期高齢者医療の方に団塊世代が移行した事等があげられます。これは本町だけでなく全国的な流れです。

【異議】

特になし

(3) その他

事務局から説明。

【質疑】

委員：那珂川町の今後の国民健康保険税の税率等について、将来的な見通しはあるのでしょうか。

事務局：今年度中にこれから計画を示していきたいと考えておりますので、次回以降の協議の中で議論していきたいと考えています。

委員：そういう計画は筑紫地区で合わせていくのでしょうか。

事務局：原則としては、それぞれの市町村での判断になるのですが、筑紫地区

4市1町と糸島市を含めた協議会を持っていますので、情報交換を行
いながら進めていき、最終的には本町独自の計画を立てていきたいと
考えております。

【異議】

特になし

その他委員から

特になし